

第 2 回 静岡市下水道使用料懇話会会議録

- 1 日 時 平成 17 年 10 月 3 日 (月) 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分
- 2 場 所 静岡市役所 清水庁舎 3 階 308 会議室
- 3 出席者 (委員) 鈴木会長、安形委員、芦澤委員、岩瀬委員、劔持委員、
小長井委員、後藤委員、清水委員、竹内委員、仲澤委員、
内野委員、青山委員、家木委員、小泉委員、佐藤委員
(事務局) 若林下水道部長、荒木下水道部理事、
小林部参与兼下水道総務課長、今井下水道計画課長、
立川下水道維持課長、飯田下水道施設課長、
大原下水道総務課参事兼統括主幹、杉山下水道総務課参事兼
統括主幹

4 静岡市下水道部長あいさつ

5 会長あいさつ

6 議 事

(1) 下水道事業財政計画 (H18 ~ 21 年度) について

下水道事業財政計画について事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

(2) 旧市の下水道使用料について

旧市の下水道使用料について事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

(3) 旧市の下水道使用料体系のいずれかに一元化した場合の改定試算について

旧市の下水道使用料体系のいずれかに一元化した場合の改定試算について事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

(4) 排水区分別構成比と他市の状況について

排水区分別構成比と他市の状況について事務局小林部参与兼下水道総務課長が説明を行う。

懇話会の席上で提出された意見は下表のとおり。

発言順、質問のみのものは掲載していません。

委員名	意 見 の 要 旨
小泉委員	ポンプ場、処理場の無人化ができるのではないか。
小泉委員	上水道と下水道の水質検査を一元化して経費節減を行ったらいかか。
小泉委員	汚泥を一元化処理して経費節減することはいかがか。
家木委員	他の政令指定都市と比較して基本使用料が高額である。
仲澤委員	下水道事業経営という大局的な見地からの市の考えを示してほしい。たとえば経営の基本スタンスとして経費回収率の目標などを示すことが必要である。
青山委員	節水すればするほど割高感を感じる。基本使用料が安くて、1立方メートルごとに使用料が増えていくような体系が望ましいのではないか。
清水委員	財政計画以外に経営計画や経営改善計画といったものを持っているか。
竹内委員	他の政令指定都市とは異なる状況のもと、静岡市の下水道事業全体の目標、単なるお金の部分だけでないビジョンを示してもらいたい。

竹内委員	大企業への負担という観点からも市の考えを聞かせてほしい。
芦澤委員	下水道使用料の基本的な部分の周知が徹底されていない。普及啓発に力を入れてほしい。
芦澤委員	生活保護者については、一般世帯との均衡に留意し、一部免除という方向で検討してもらいたい。
内野委員	本市と同様な立場にあった千葉市やさいたま市について参考資料を提供してほしい。
鈴木会長	経費回収率100%という独立採算が理想ではあるが、現実難しいとなれば、どの程度の経費回収率を目標設定しているのか示してほしい。
鈴木会長	旧静岡地区と旧清水地区の使用者間の不公平感をどのように是正していく考えか。

会 長 _____

委 員 _____